

# 中小企業景況調査報告書

令和3年10月～令和3年12月期実績 / 令和4年1月～3月期見通し

令和3年12月

宮崎県商工会連合会

# 中小企業景況調査要領

この調査は、商工会の経営改善普及事業の指導資料にするため、全国商工会連合会が中心となり、昭和54年度から四半期ごとに全国一斉に実施しているものです。本県分の調査結果は次のとおりです。

## 1. 調査対象期間

令和3年10月～令和3年12月期を対象とし、調査は令和3年11月4日から11月15日の間に実施しました。なお、令和4年1月～3月期は予測値となります。

## 2. 調査方法

商工会の経営指導員による訪問面接調査により実施。

## 3. 対象地区

宮崎市生目、中郷、北郷町、三股町、えびの市、国富町、木城町、川南町、諸塚村、日之影町の10商工会地区。

## 4. 回答企業数

150企業のうち、143企業の回答を得た(有効回答率95.3%)。

業 種	調査対象企業数(%:構成比)		有効回答企業数(%:構成比)		有効回答率(%)
製 造 業	31	20.7%	29	20.3%	93.5%
建 設 業	23	15.3%	22	15.4%	95.7%
小 売 業	42	28.0%	39	27.3%	92.9%
サービス業	54	36.0%	53	37.1%	98.1%
合 計	150	100.0%	143	100.0%	95.3%

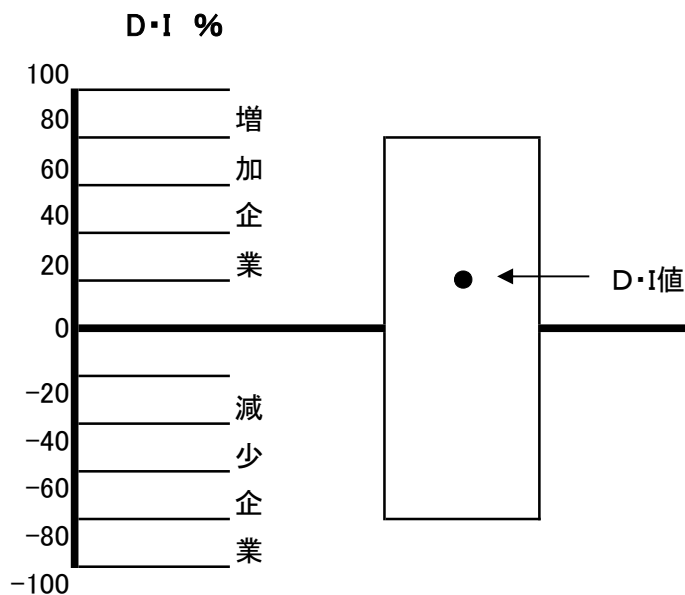
## 5. その他

### (1) D・I

この報告書の中で、「D・I」とある記号は、デフュージョン・インデックス(景気動向指数)の略です。これは企業経営者の景気動向を表わす指標として利用されています。算出方法は、今期と前期、今期と前年同期、あるいは今期と来期「見通し」との比較を行い、増加(上昇・好転)企業の割合から減少(低下・悪化)企業等の割合を差し引いたものです。D・Iがプラスなら強気(楽観)、マイナスなら弱気(悲観) 原材料又は商品の仕入単価の場合はプラスなら上昇気運、マイナスなら低下気運となります。

例えば、売上高で(増加)企業40%、(不変)企業40%、(減少)企業20%の場合、D・Iは40(増加)－20(減少)＝20となり、全体として経営者の売上に対する強気の度合いを表わしています。

グラフで示すと下のようになります。



### (2) 天気図

D・I値をお天気マークで表示

DI値	特に好調 $30 \leq DI$	好 調 $15 \leq DI < 30$	まあまあ $0 \leq DI < 15$	やや不振 $\Delta 15 \leq DI < 0$	不 振 $\Delta 30 \leq DI < \Delta 15$	きわめて不振 $DI \leq \Delta 30$
表示						
	晴	晴時々曇	うす曇	曇	曇時々雨	雨

## I 全産業全体の状況

### 主要景気動向指数(D・I)

項目	令和2年	令和3年	令和3年	令和3年	令和3年	令和4年
	10月～12月	1月～3月	4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月
	前々々期	前々期	前期	今期	今期	来期見通し
売上高	▲ 33.7	▲ 29.6	▲ 15.8	▲ 31.1	▲ 10.0	▲ 2.2
採算	▲ 27.7	▲ 17.2	▲ 18.6	▲ 32.4	▲ 18.9	▲ 10.2
資金繰り	▲ 19.7	▲ 7.7	▲ 9.7	▲ 26.1	▲ 11.6	▲ 8.8
業況	▲ 25.4	▲ 16.0	▲ 15.7	▲ 29.3	▲ 10.9	▲ 4.5

いずれも前年同期と比較したもの。

#### <主要景況項目の概況>

##### ◎売上高

今期(令和3年10月～令和3年12月)の売上高のD・Iは、▲10.0ポイントとなって、直前四半期の▲31.1ポイントより改善した。製造業、建設業、小売業、サービス業の全ての業種で改善した。来期については、▲2.2ポイントと当期よりもさらに改善を見込んでいる。

##### ◎採算

採算のD・Iは、▲18.9ポイントとなっており、直前四半期の▲32.4ポイントから改善している。小売業は前期と同じであったが、製造業、建設業、サービス業では改善した。来期については、▲10.2ポイントと当期より改善を見込んでいる。

##### ◎資金繰り

資金繰りのD・Iは、▲11.6ポイントで、直前四半期から改善した。全ての業種で改善した。来期については、全体で▲8.8ポイントであり、当期よりさらに改善を見込んでいる。

##### ◎業況

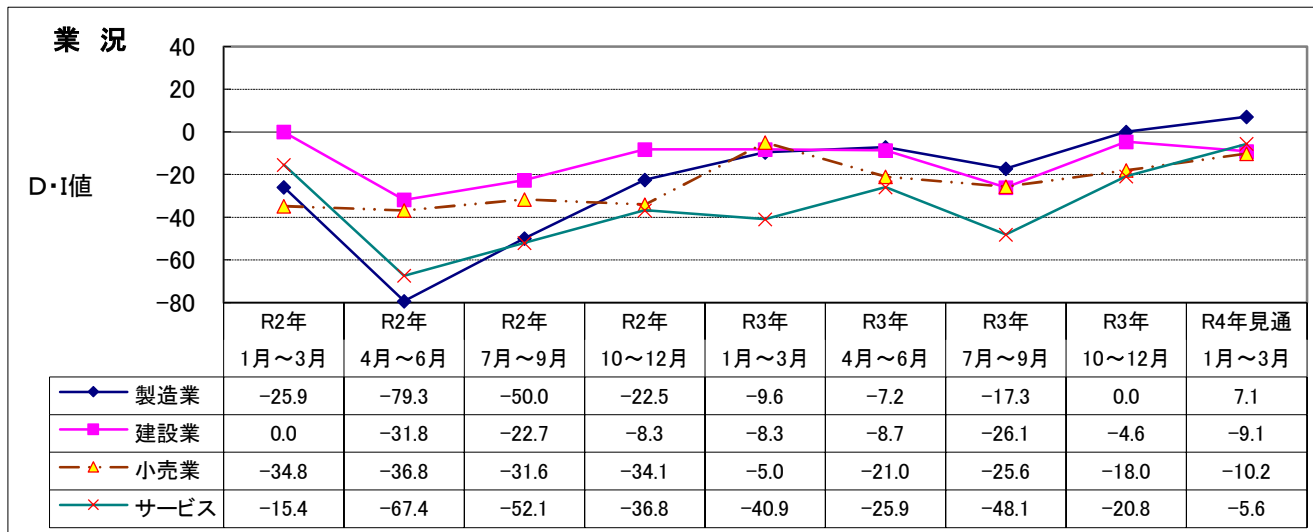
業況のD・Iは、▲10.9ポイントで、前期に比べて改善した。来期は▲4.5ポイントとさらに改善を見込んでいる。

内閣府の令和3年11月発表の月例経済報告では、「景気は、新型コロナウイルス感染症による厳しい状況が徐々に緩和されつつあるものの、引き続き持ち直しの動きに弱さがみられる。先行きについては、経済社会活動が正常化に向かう中で、各種政策の効果や海外経済の改善もあって、持ち直しの動きが続くことが期待される。ただし、供給面での制約や原材料価格の動向による下振れリスクに十分注意する必要がある。また、感染症による内外経済への影響や金融資本市場の変動等の影響を注視する必要がある。」としており、景気は回復過程にあるとしている。日本銀行宮崎事務所の11月9日付の宮崎県金融経済概況では、「宮崎県の景気は、このところ足踏み状態となっている。個人消費は緩やかに持ち直している。観光は厳しい状況が続くが、持ち直しの動きがみられ、公共投資は高水準で推移している。」としており、基調判断は、足踏み状態にあるとし、前回と変更はない。本調査では、県内中小・小規模事業者の景況感は、新型コロナウイルス感染症が落ち着いていることから、改善しているところである。

製造業	売上、採算、資金繰りの全てで改善という結果となった。次期の見通しも、売上、採算、資金繰りの全てで改善を見込んでいる。
建設業	完成工事額、採算、資金繰りの全てで改善という結果になった。次期の見通しは、完成工事額は悪化、採算と資金繰りは改善を見込んでいる。
小売業	売上と資金繰りは改善し、採算は前期と同じという結果となった。次期の見通しは、売上と採算は改善し、資金繰りは悪化を見込んでいる。
サービス業	売上、採算、資金繰りの全てで改善という結果となった。次期の見通しも、売上、採算、資金繰りの全てで改善を見込んでいる。

＜経営上の問題点について＞

製造業では、「製品ニーズの変化」、建設業では、「材料価格の上昇」、小売業では、「仕入単価の上昇」、サービス業では、「需要の停滞」が、1位となった。仕入れコストの上昇については、各業界ともに経営上の問題となっている。10月以降、新型コロナウイルス感染状況も落ち着き、県内では1ヶ月以上連続して新規感染者が0となり、経済活動も徐々に回復してきているところである。しかしながら、新たな変異株、オミクロン株が登場するなど冬場に向けて感染第6波への備えは欠かせないところである。

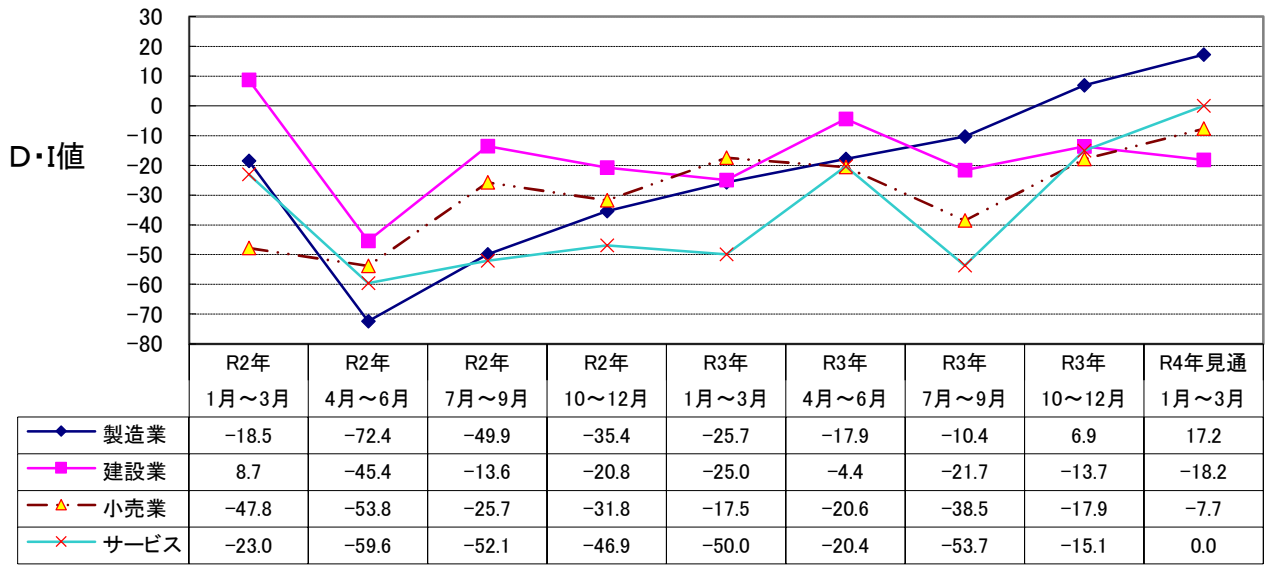


(業況天気図)

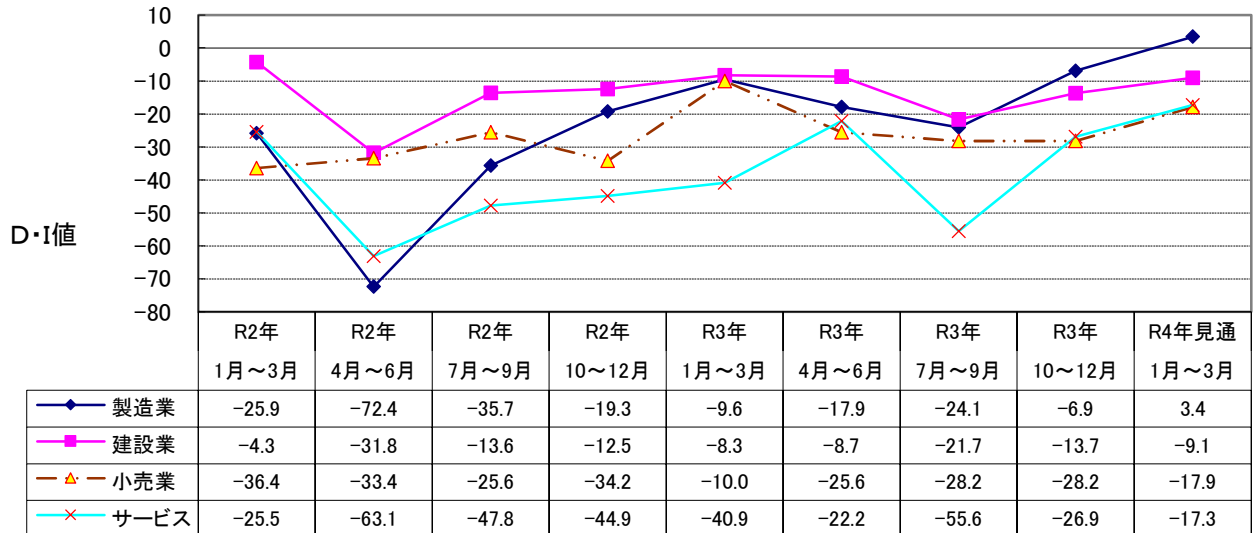
業種別	製造業	建設業	小売業	サービス業
10月から12月 実績				
D-I値	0.0	▲ 4.6	▲ 18.0	▲ 20.8
1月から3月 見通し				
D-I値	7.1	▲ 9.1	▲ 10.2	▲ 5.6
傾向	→	→	→	→

(注) 好転 ↗ 横ばい → 悪化 ↘

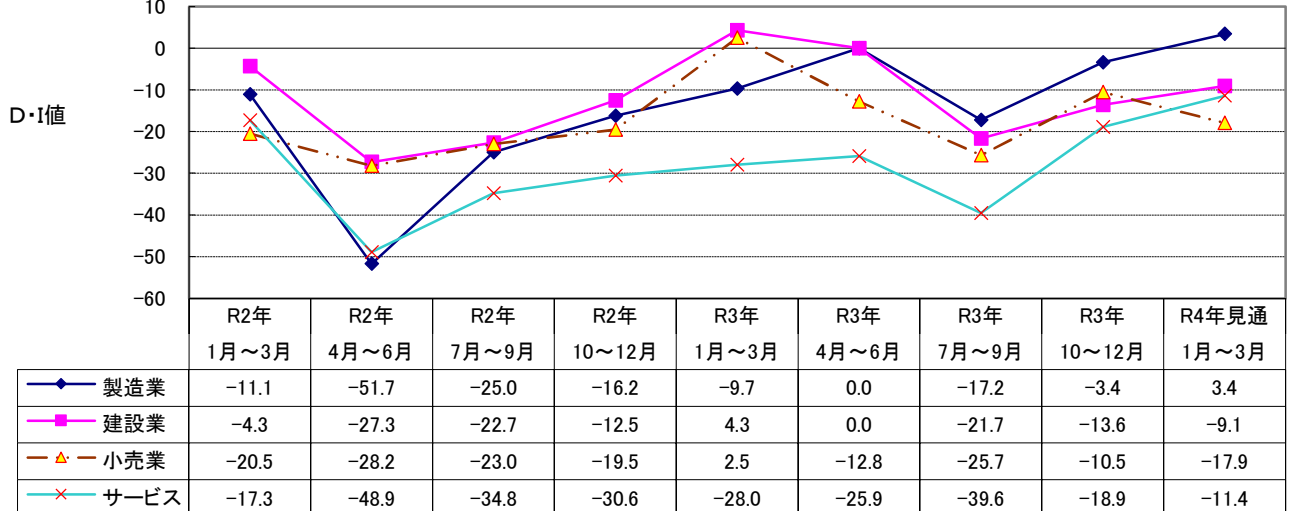
### 売上額(加工・完成)の推移



### 採算の推移(経常利益)





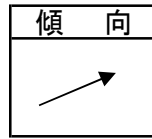
### 資金繰り



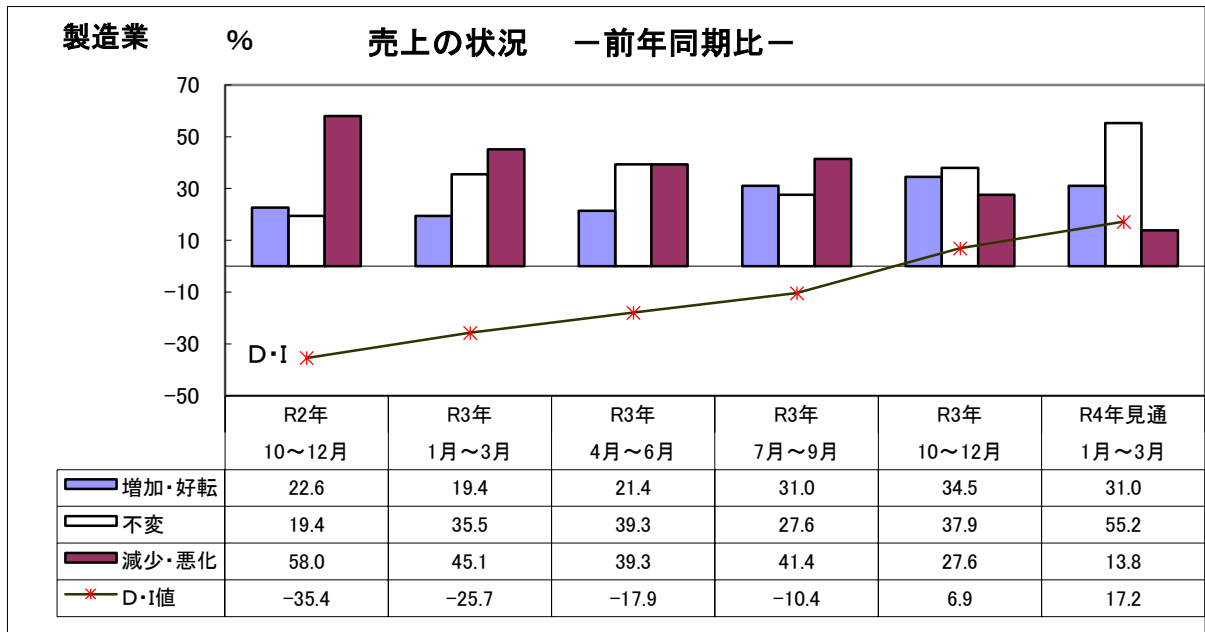
## II 製造業の景況

### (1) 売上(加工)額の推移



3年10~12月 (実績)	4年1月~3月 (見通し)
	
うす曇	晴時々曇
6.9	17.2

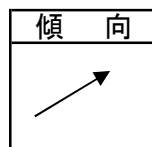


当期の売上高のD・Iは、「増加・好転」とする企業が増加し、「減少・悪化」の企業が減少したため、D・Iは6.9ポイントと、前期と比べて改善した。次の四半期は「増加・好転」の企業が減少するが、「減少・悪化」の企業も減少するため、D・Iは当期から改善する見込みとなっている。

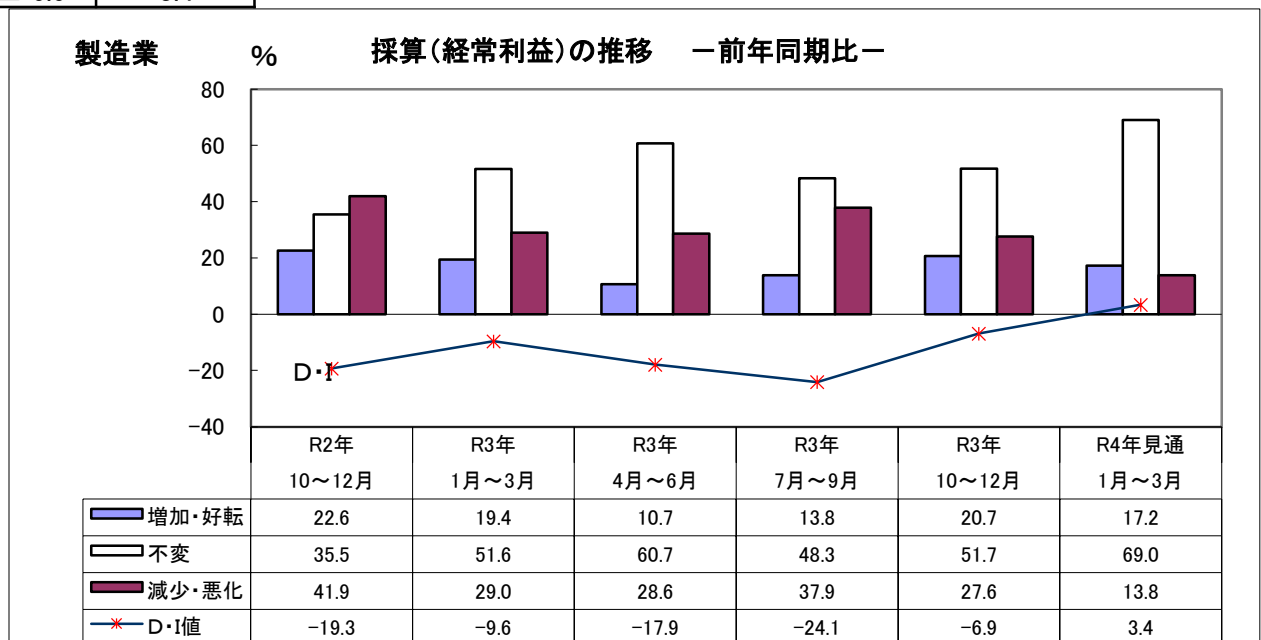


### (2) 採算(経常利益)の推移

3年10~12月 (実績)	4年1月~3月 (見通し)
	
曇	うす曇
▲ 6.9	3.4

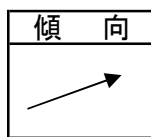


当期の採算のD・Iは、-6.9ポイントで、直前四半期の数値から改善した。「増加・好転」の企業が増加し、「減少・悪化」の企業が減少したためである。次の四半期は「増加・好転」の企業は減少するものの、「減少・悪化」の企業も減少するため、当期からさらに改善する見込みとなっている。

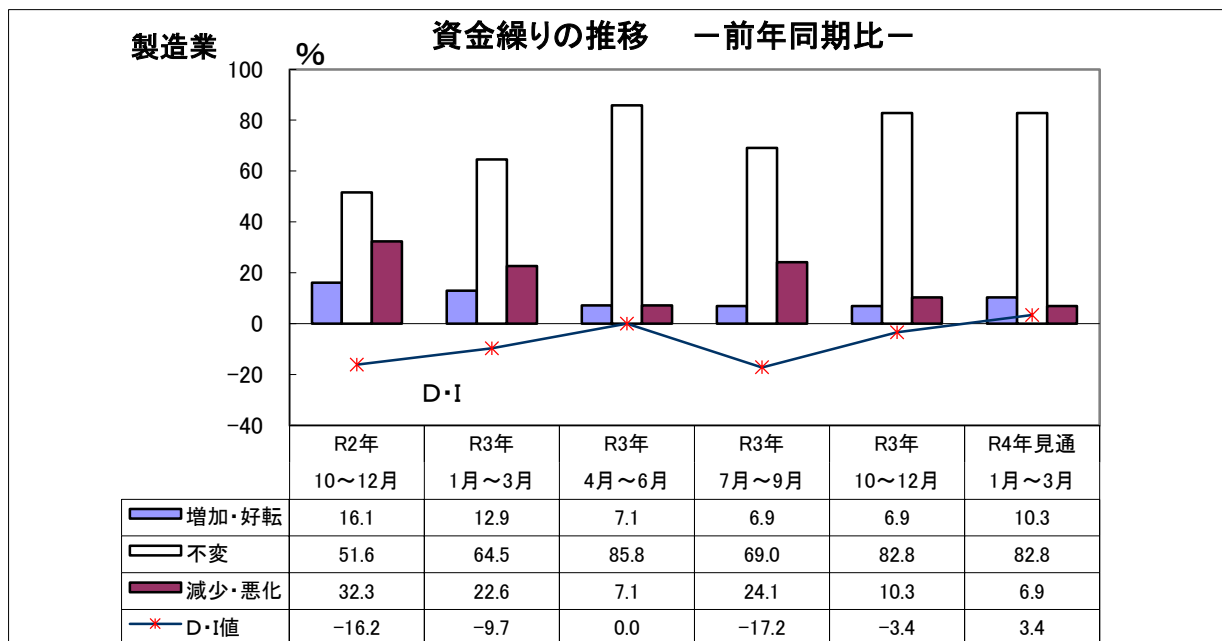


### (3) 資金繰りの推移

3年10~12月 (実績)	4年1月~3月 (見通し)
曇	うす曇
▲ 3.4	3.4

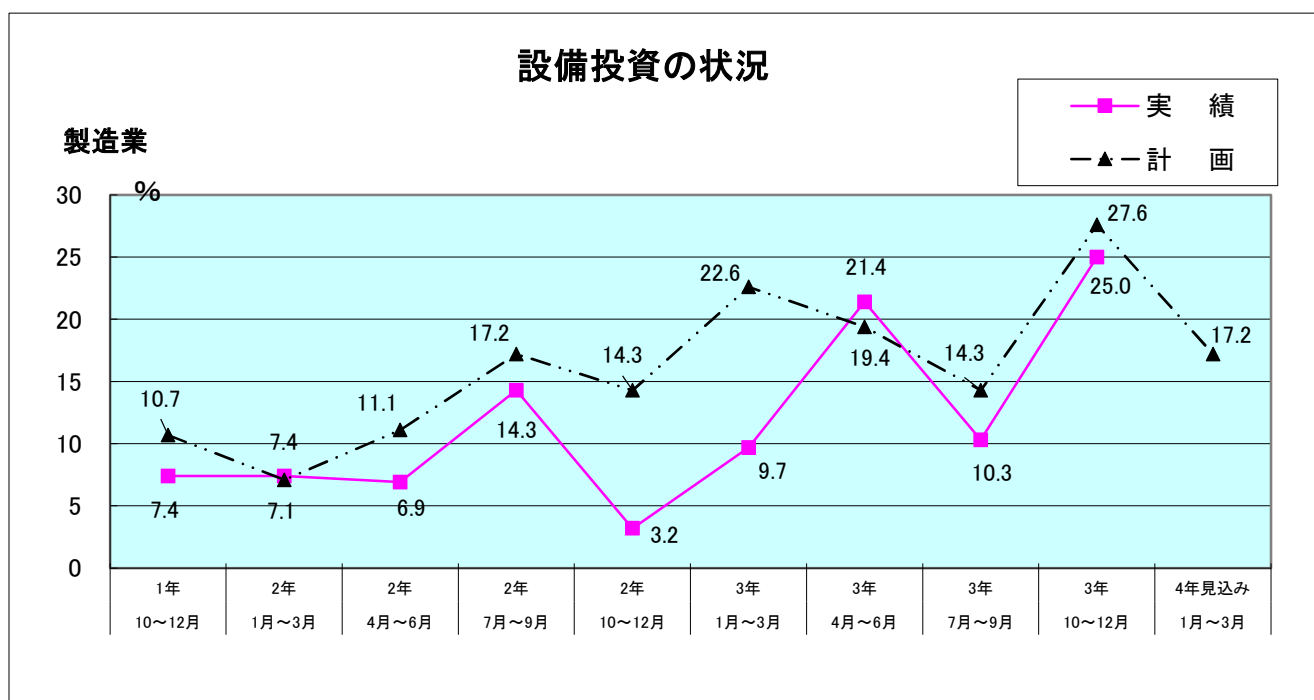


当期の資金繰りのD・Iは、-3.4ポイントとなり、前期より改善した。「増加・好転」の企業は前期と同じであったが、「減少・悪化」の企業が減少したためである。次の四半期については、「増加・好転」の企業が増加し、「減少・悪化」の企業が減少するため、資金繰りのD・Iは、当期より改善を見込んでいる。



### (4) 設備投資の推移

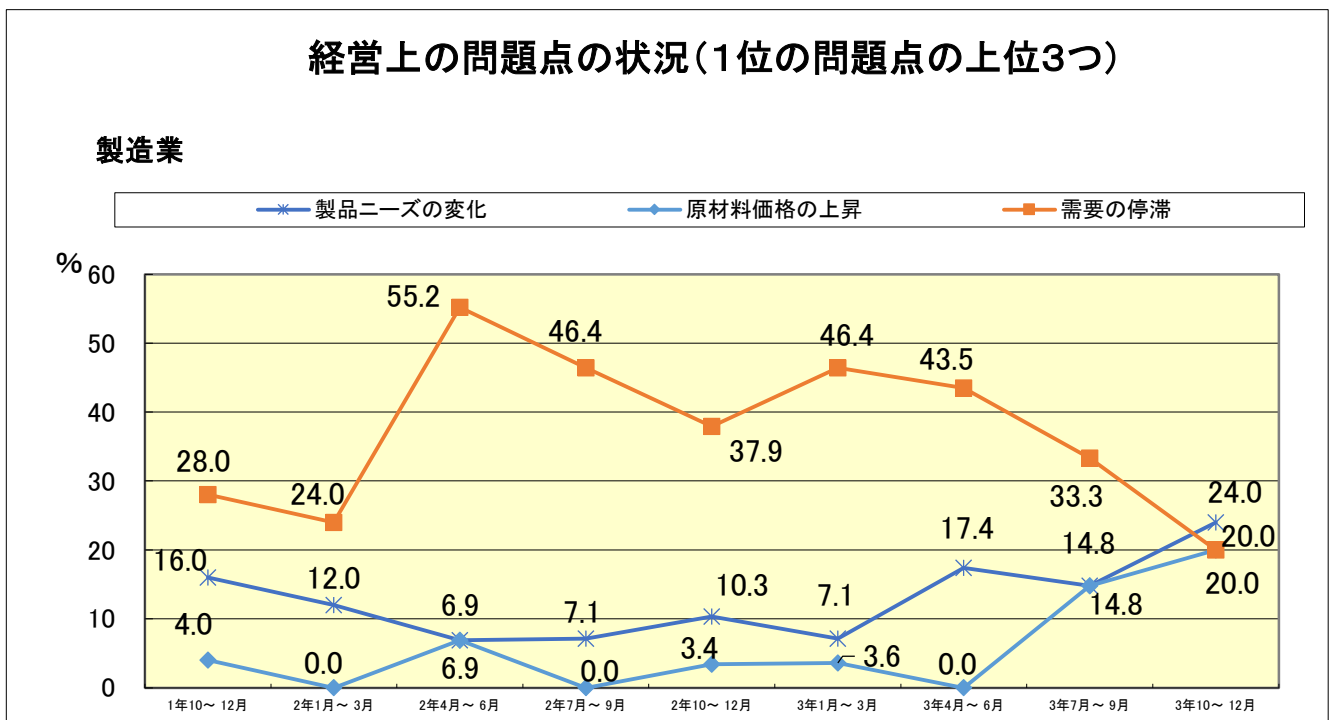
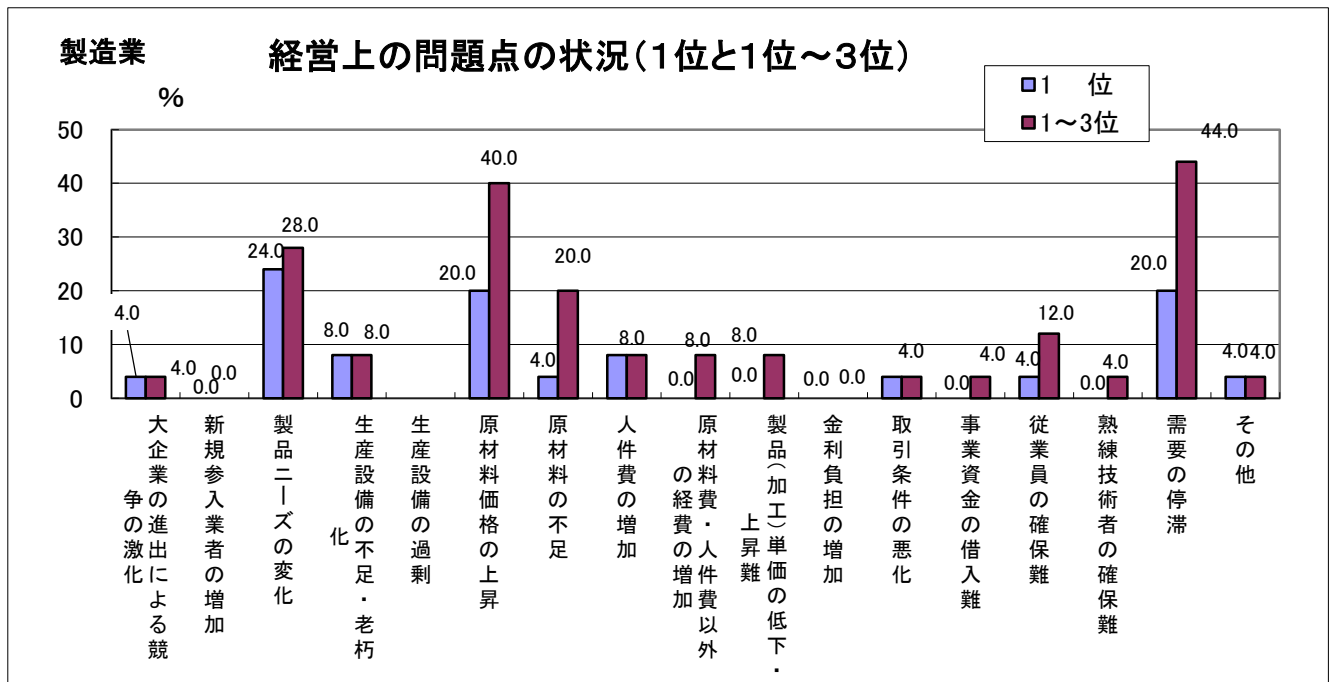
当期の設備投資計画は27.6%の企業が実施の意向を見せていたが、実績は25.0%となり、実績は計画を下回った。  
次の四半期は17.2%の企業が計画している。内容は生産設備、OA機器等となっている。





### (5) 経営上の問題点

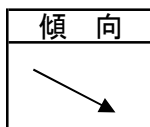
経営上の問題点について回答を求めたところ、(1位グループ)の合計で多かったのは、1位が「製品ニーズの変化」となり、2位が同率で「需要の停滞」、「原材料価格の上昇」となっている。(1位～3位グループ)では、1位が「需要の停滞」、2位が「原材料価格の上昇」、3位が「製品ニーズの変化」となった。今回の調査でも1位グループ、1位～3位グループともに経営上の問題点として同じ傾向が認められる。



### Ⅲ 建設業の景況

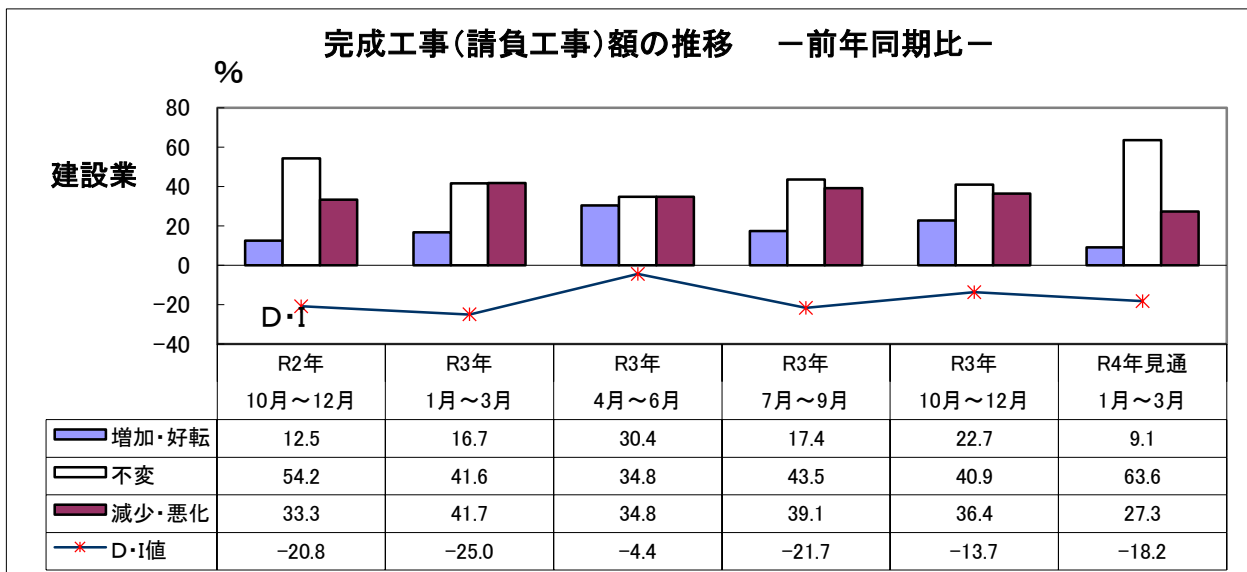
#### (1) 完成工事額の推移

3年10～12月 (実績)	4年1月～3月 (見通し)
	
曇	曇時々雨
▲ 13.7	▲ 18.2



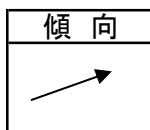
当期の完成工事額のD・Iは、-13.7ポイントとなり、前期から改善した。「増加・好転」とする企業が増加し、「減少・悪化」とする企業が減少したためである。

次の四半期については、「減少・悪化」の企業が減少するが、「増加・好転」の企業も減少するため、完成工事額のD・Iは、当期より悪化し、-18.2ポイントとなっている。

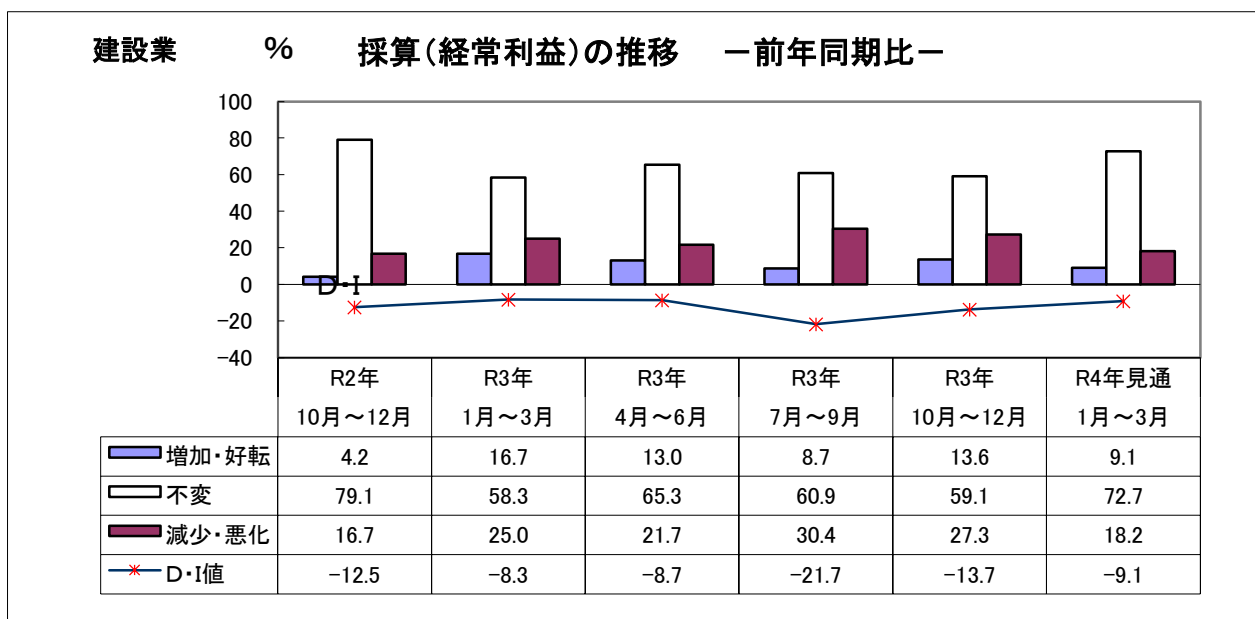


#### (2) 採算(経常利益)の推移

3年10～12月 (実績)	4年1月～3月 (見通し)
	
曇	曇
▲ 13.7	▲ 9.1

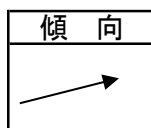


当期の採算のD・Iは、-13.7ポイントであった。前期から改善した。「増加・好転」とする企業が増加し、「減少・悪化」とする企業が減少したためである。次の四半期は、「増加・好転」とする企業は減少するが、「減少・悪化」とする企業も減少するため、D・Iは、当期より改善し-9.1ポイントとなっている。

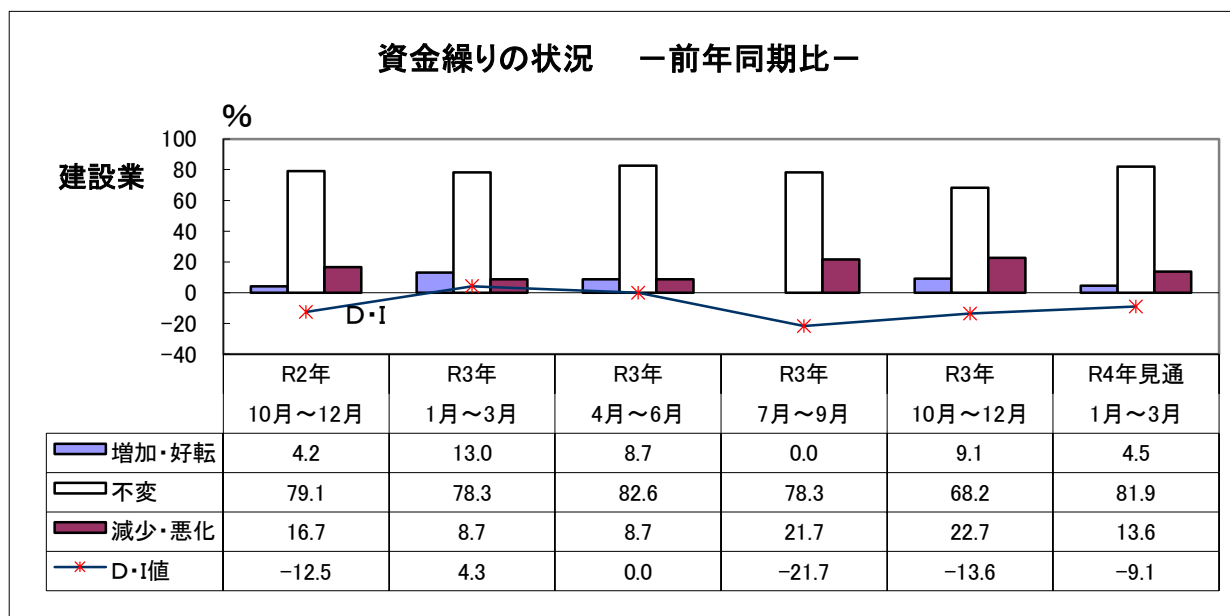


### (3) 資金繰りの推移

3年10~12月 (実績)	4年1月~3月 (見通し)
曇	曇
▲ 13.6	▲ 9.1

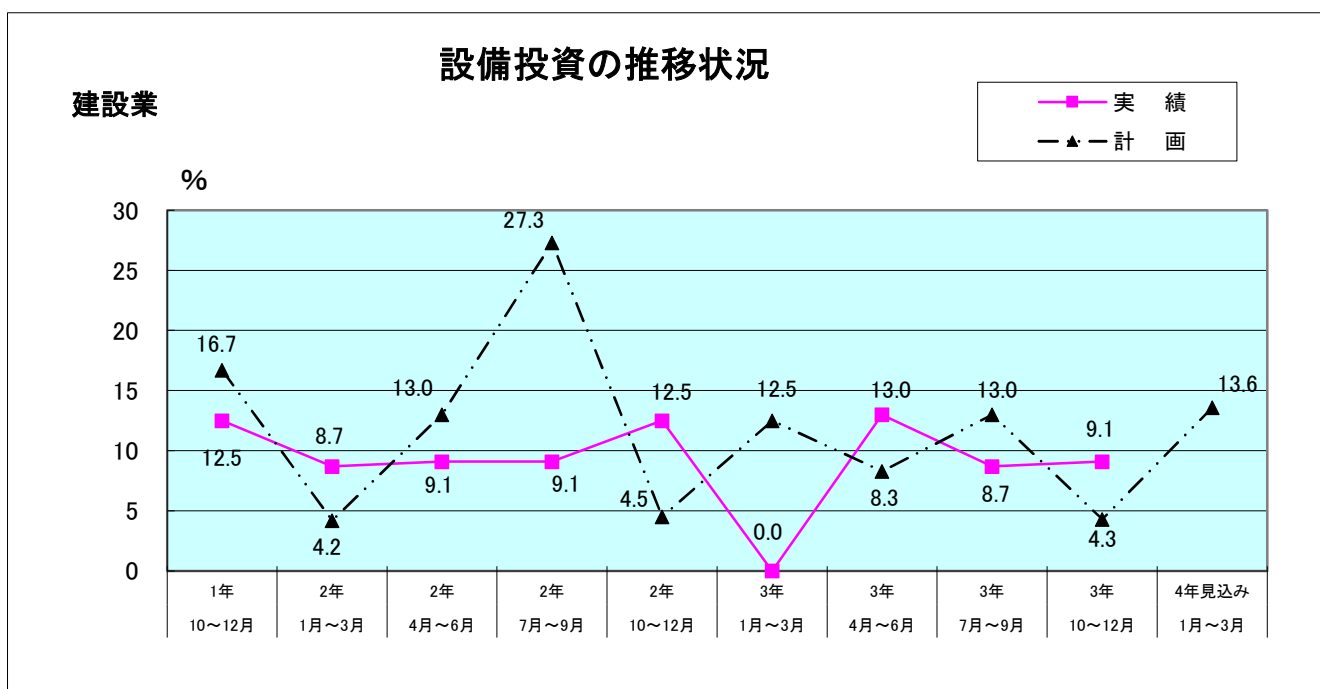


資金繰りのD・Iは-13.6ポイントと、前期より改善する結果となった。「減少・悪化」とする企業はほぼ横ばいであったが、「増加・好転」とする企業が増加したためである。次の四半期については、「増加・好転」とする企業が減少するが、「減少・悪化」とする企業も減少するため、D・Iは、当期より改善し-9.1ポイントである。



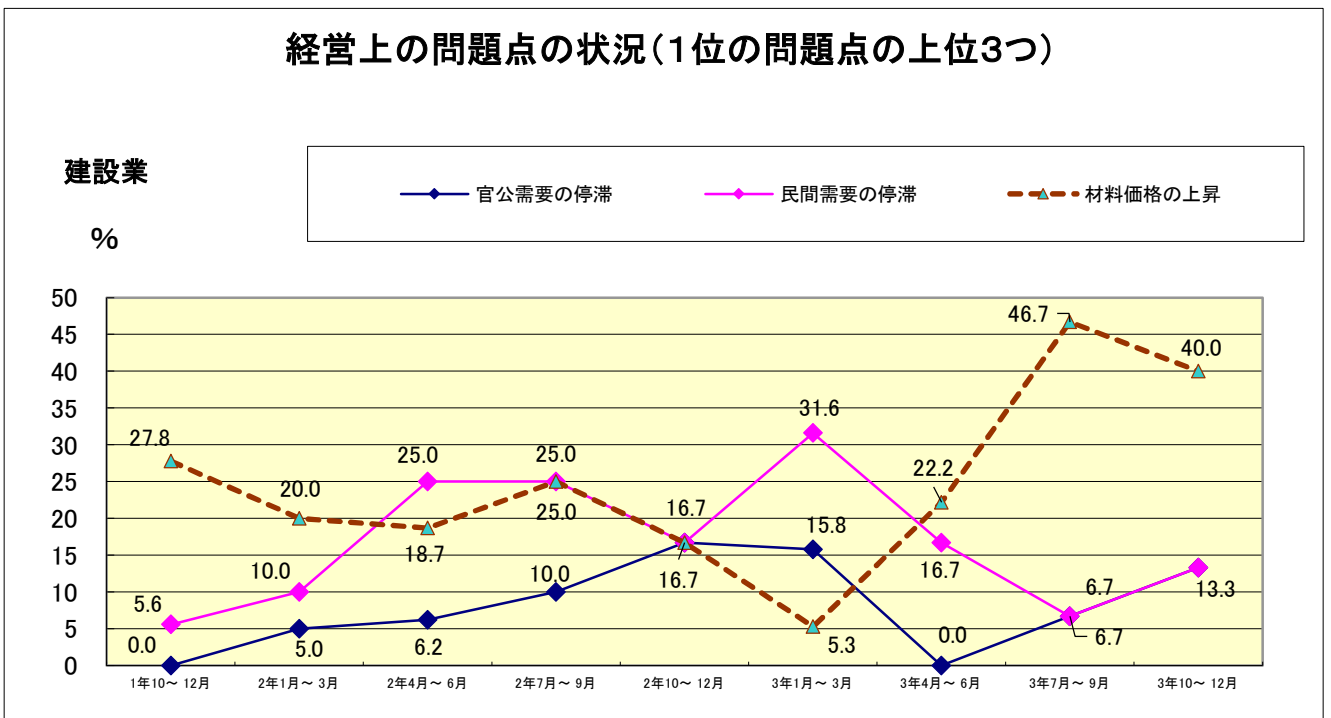
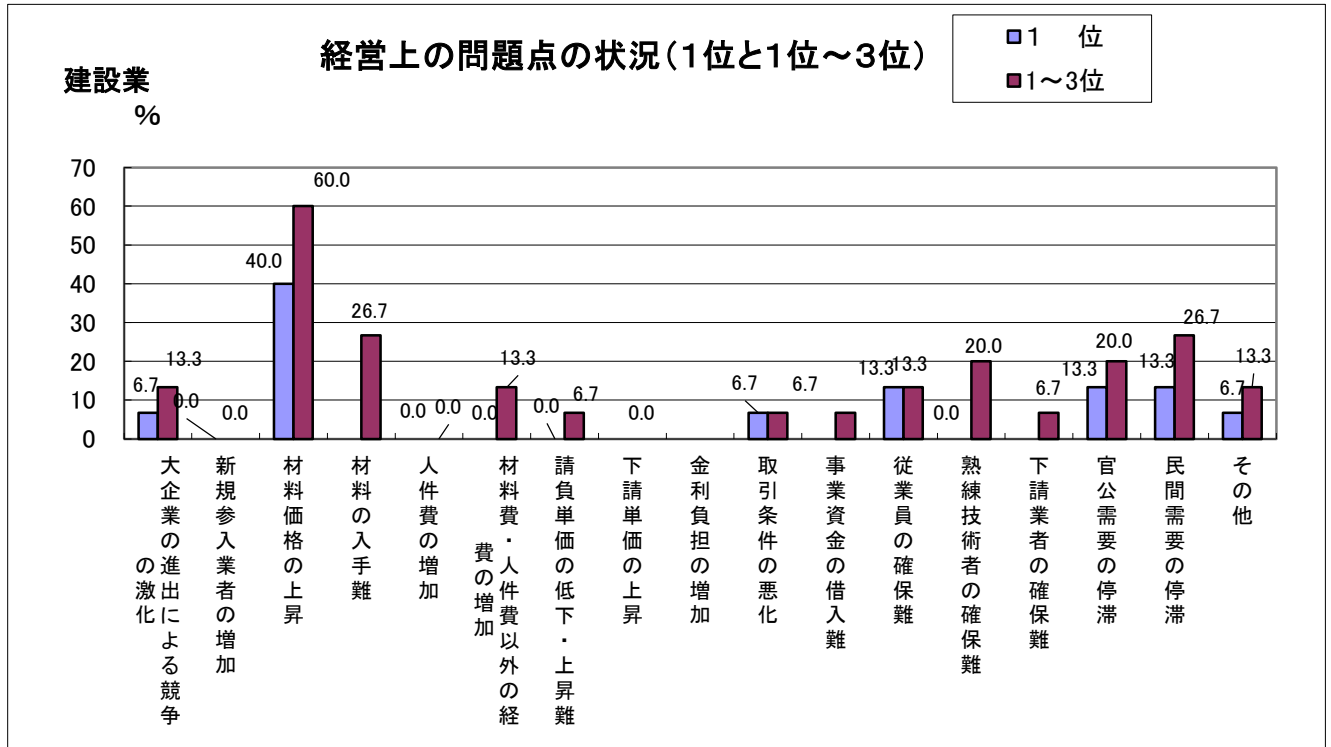
### (4) 設備投資の推移

当期の設備投資計画は4.3%であったが、実際に投資を行った企業は9.1%であった。次の四半期に設備投資を計画している企業は13.6%という結果となっている。投資対象は建物、建設機械等となっている。





### (5) 経営上の問題点

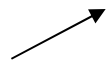
経営上の問題点について、(1位グループ)で回答が多かったのは、1位が「材料価格の上昇」、2位が同率で、「民間需要の停滞」、「官公需要の停滞」、「従業員の確保難」となっている。(1位～3位グループ)も、1位が「材料価格の上昇」、2位が同率で、「民間需要の停滞」、「材料の入手難」であった。前回同様、「材料価格の上昇」が1位となっている。



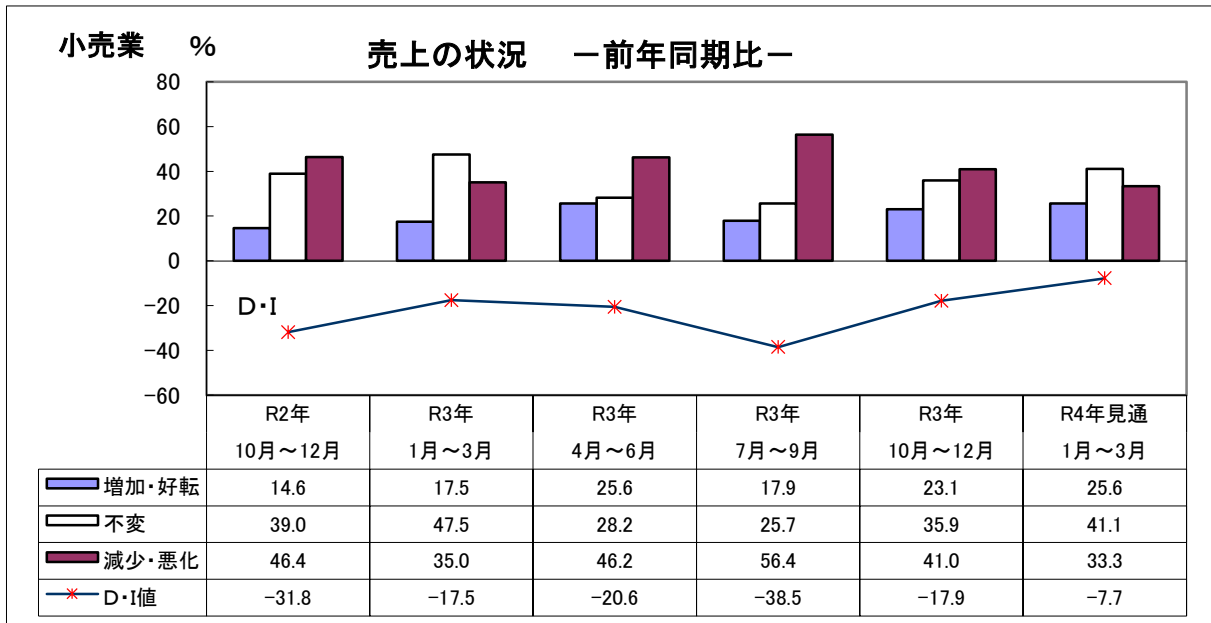
## IV 小売業の景況

### (1) 売上額の推移



3年10～12月 (実績)	4年1月～3月 (見通し)
	
曇時々雨	曇
▲ 17.9	▲ 7.7


傾 向


当期の売上のD・Iは-17.9ポイントで、直前期の-38.5ポイントより改善した。「増加・好転」とする企業が増加し、「減少・悪化」とする企業が減少したためである。客数、客単価は改善している。次の四半期は、「増加・好転」の企業が増加し、「減少・悪化」の企業が減少するため、D・Iは当期より改善を見込んでいる。

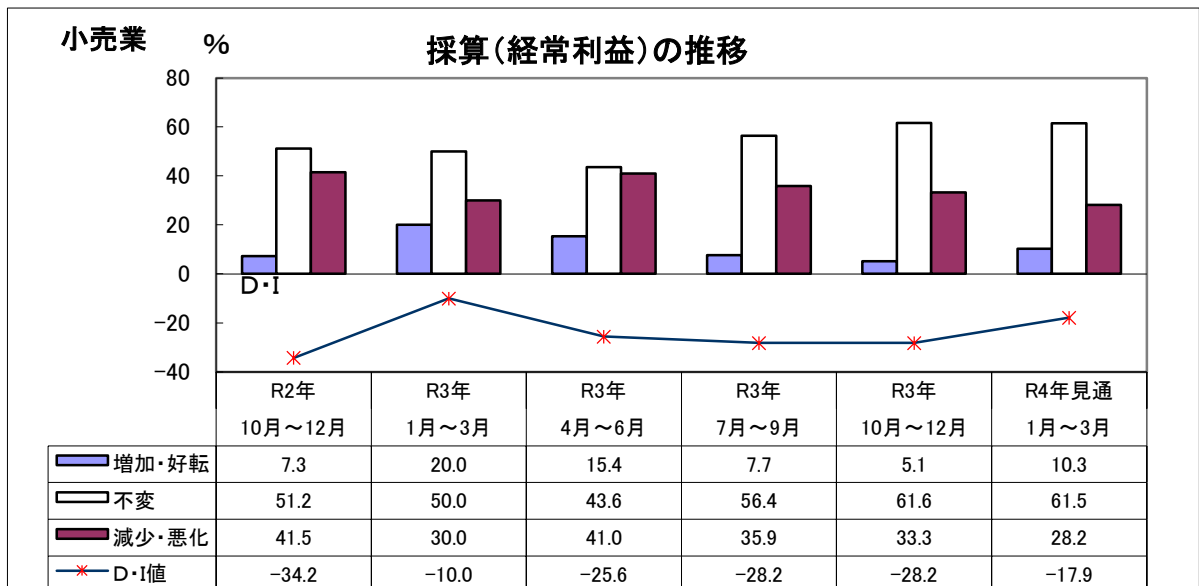


### (2) 採算(経常利益)の推移



3年10～12月 (実績)	4年1月～3月 (見通し)
	
曇時々雨	曇時々雨
▲ 28.2	▲ 17.9

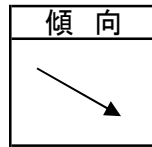
傾 向


当期の採算のD・Iは-28.2ポイントで、前期と同じであった。「減少・悪化」とする企業が減少したが、「増加・好転」とする企業も減少したためである。次の四半期は「増加・好転」の企業が増加し、「減少・悪化」とする企業が減少するため、D・Iは当期より改善し-17.9ポイントとなっている。

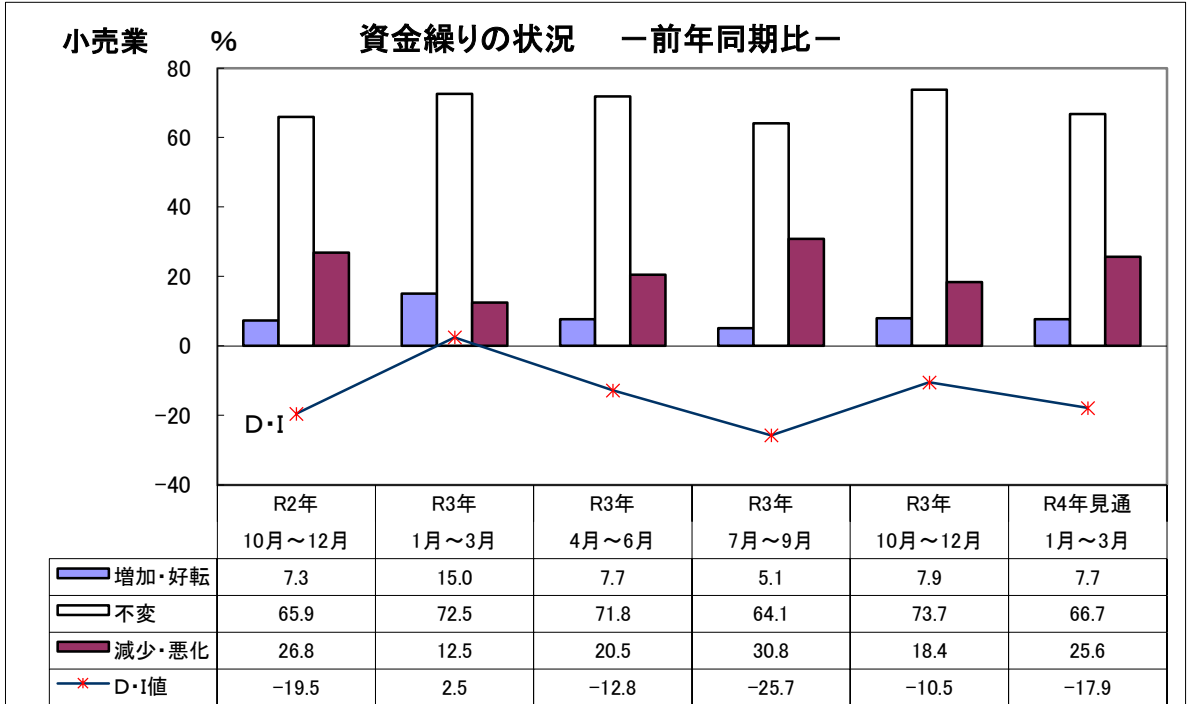


### (3) 資金繰りの推移

3年10~12月 (実績)	4年1月~3月 (見通し)
	
曇	曇時々雨
▲ 10.5	▲ 17.9

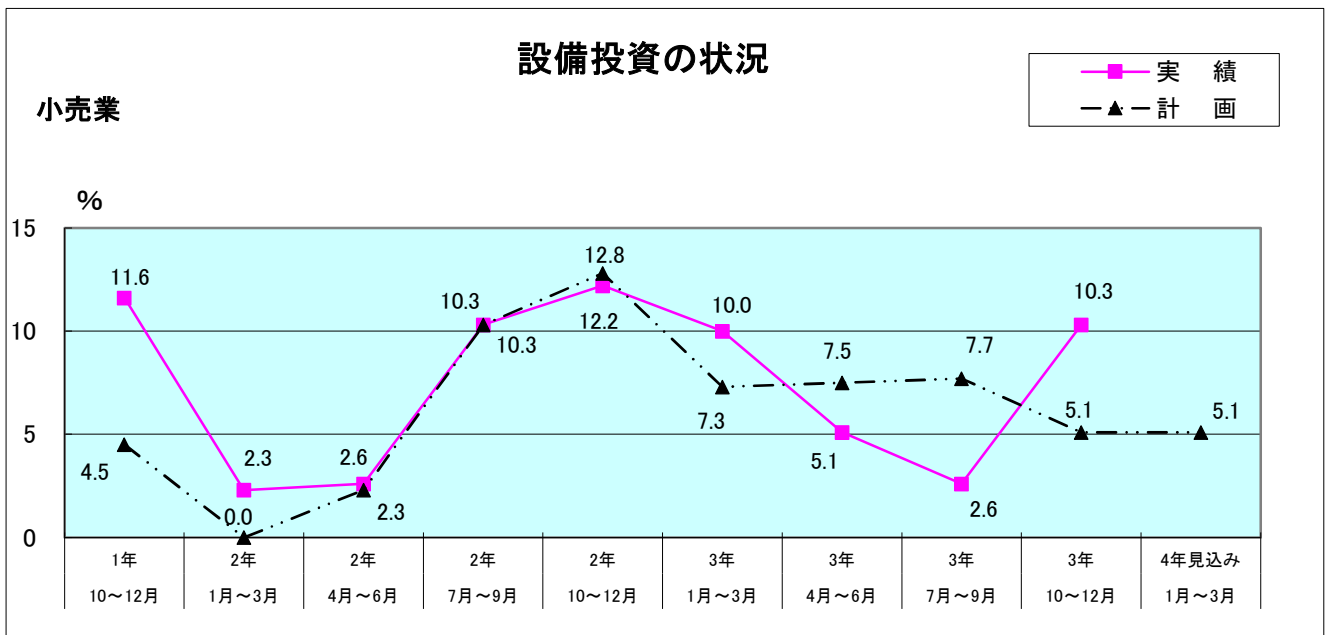


当期の資金繰りのD・Iは-10.5ポイントで、直前期から改善した。「増加・好転」とする企業が増加し、「減少・悪化」とする企業が減少したためである。次期四半期は「増加・好転」の企業は、当期とほぼ横ばいであるが、「減少・悪化」の企業が増加するため、D・Iは当期より悪化を見込んでいる。



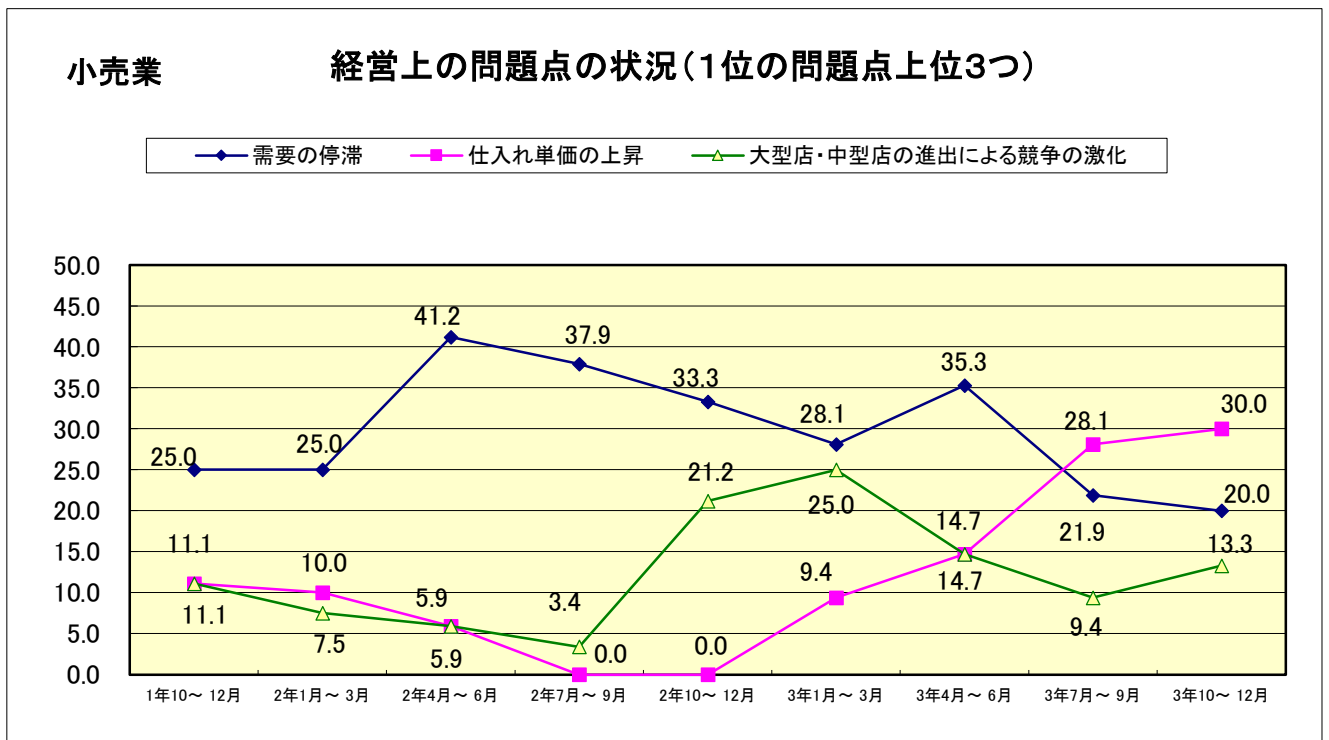
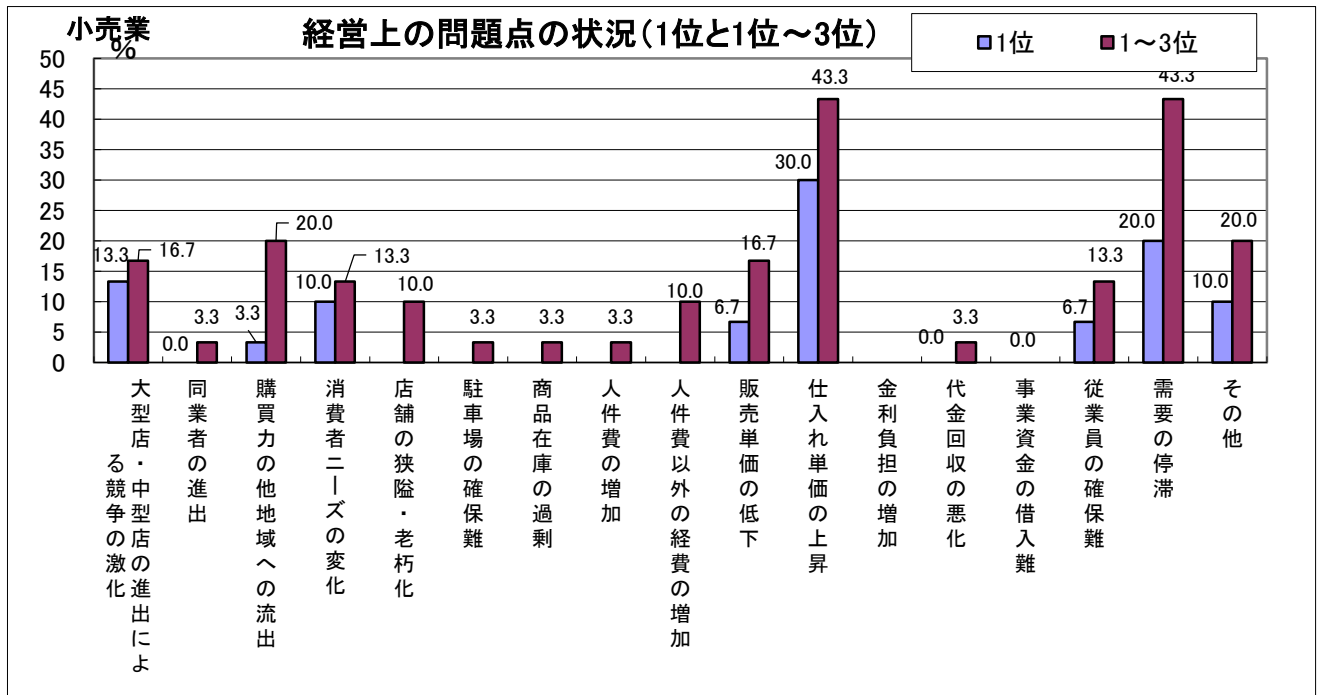
### (4) 設備投資の推移

設備投資は5.1%の企業が計画し、実際に実施した企業は10.3%となった。投資対象は店舗、販売設備等となっている。次の四半期の見通しは、設備投資を計画している企業は5.1%となっている。





### (5) 経営上の問題点

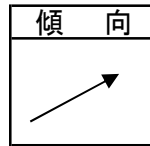
経営上の問題点について、回答が多かったのは、(1位グループ)では、1位が「仕入れ単価の上昇」、2位が「需要の停滞」、3位が「大型店・中型店の進出による競争の激化」であった。(1位から3位グループ)では、1位が同率で「需要の停滞」、「仕入れ単価の上昇」、2位が同率で、「購買力の他地域への流出」、「その他」であった。前回の調査結果と同様に、「仕入単価の上昇」が1位となっている。



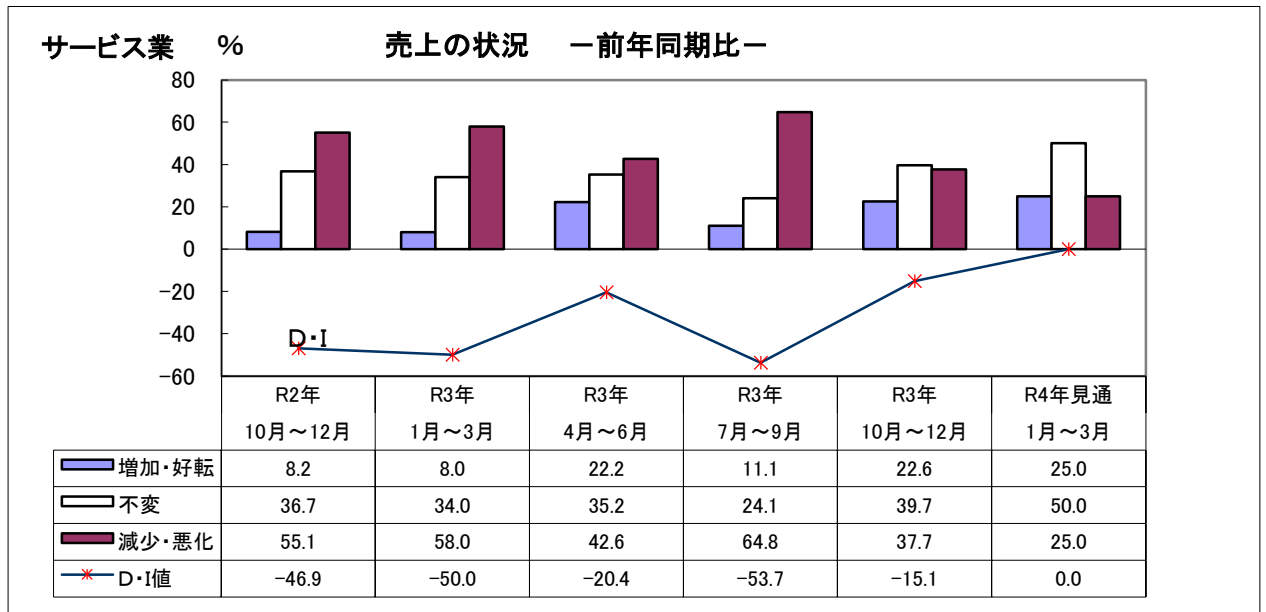
## V サービス業の景況

### (1) 売上額の推移



3年10～12月 (実績)	4年1月～3月 (見通し)
	
曇時々雨	うす曇
▲ 15.1	0.0

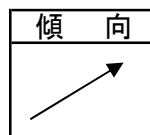


当期の売上のD・Iは、-15.1ポイントと前期より大幅に改善した。「増加・好転」の企業が増加し、「減少・悪化」の企業が減少したためである。客単価、利用客数が改善している。  
次の四半期は「増加・好転」の企業が増加し、「減少・悪化」の企業が減少するため、D・Iは当期よりさらに改善する。

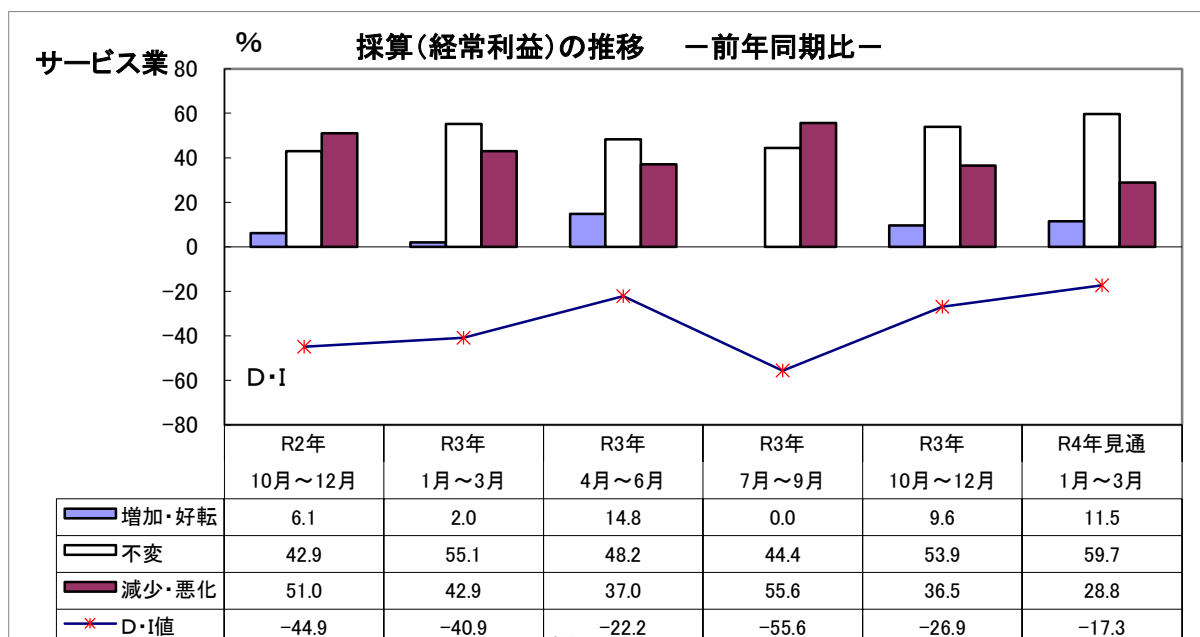


### (2) 採算(経常利益)の推移

3年10～12月 (実績)	4年1月～3月 (見通し)
	
曇時々雨	曇時々雨
▲ 26.9	▲ 17.3



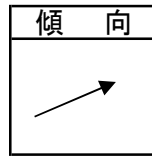
当期の採算のD・Iは、-26.6ポイントで、前期より改善した。「増加・好転」の企業が増加し、「減少・悪化」の企業が減少したためである、次の四半期は「増加・好転」の企業が増加し、「減少・悪化」の企業が減少するため、D・Iは当期より改善する見込みとなっている。



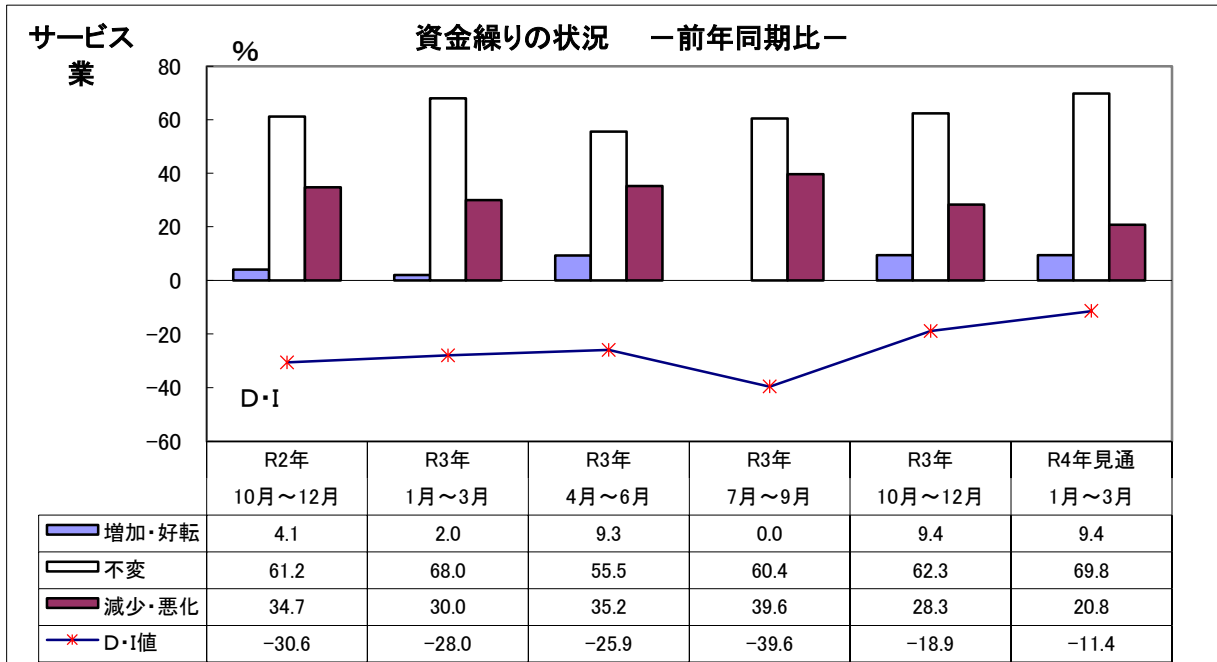


### (3) 資金繰りの推移

3年10~12月 (実績)	4年1月~3月 (見通し)
曇時々雨	曇
▲ 18.9	▲ 11.4

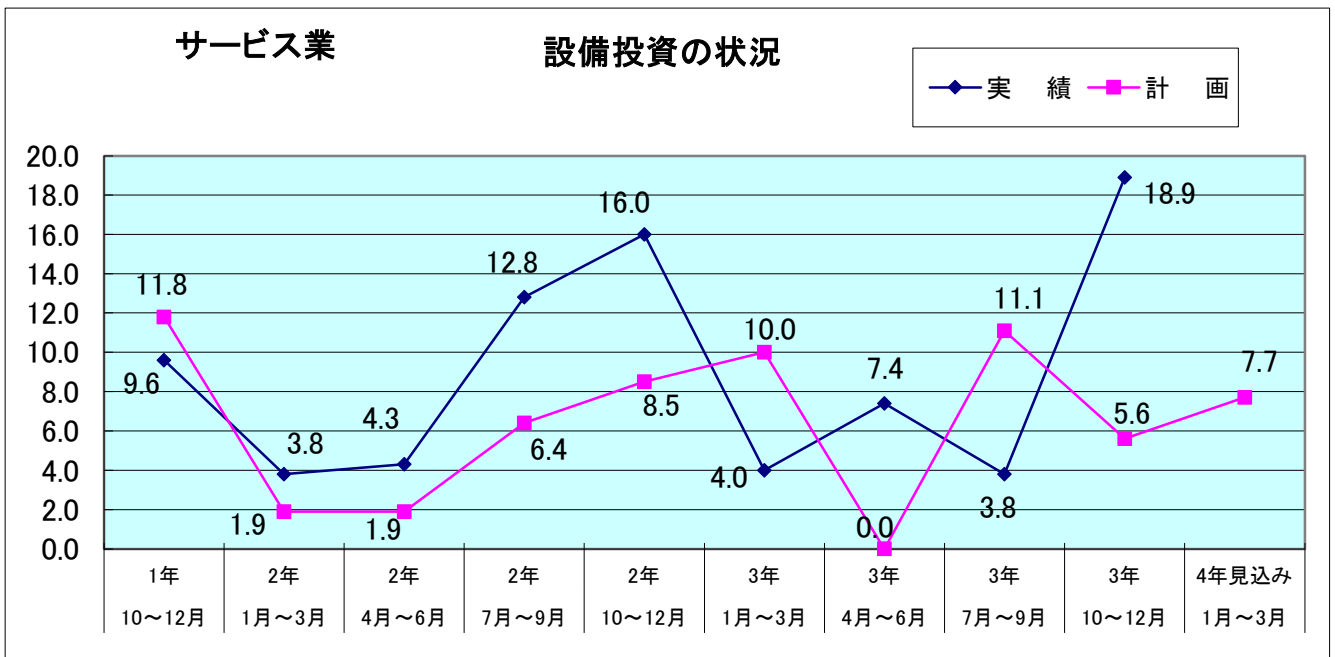


当期の資金繰りのD・Iは、-18.9ポイントと前期から改善した。「増加・好転」とする企業が増加し、「減少・悪化」とする企業が減少したためである。次の四半期は「増加・好転」の企業は当期と同じであるが、「減少・悪化」の企業が減少するため、資金繰りのD・Iは、当期より改善する。



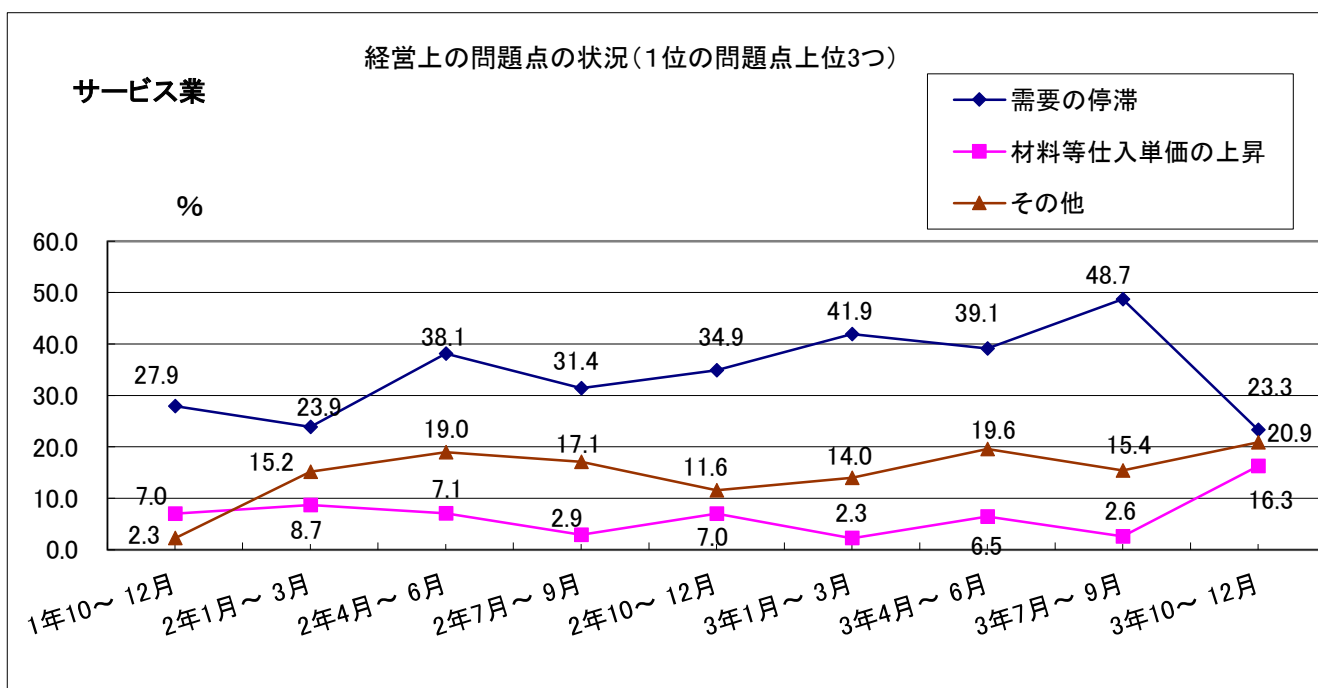
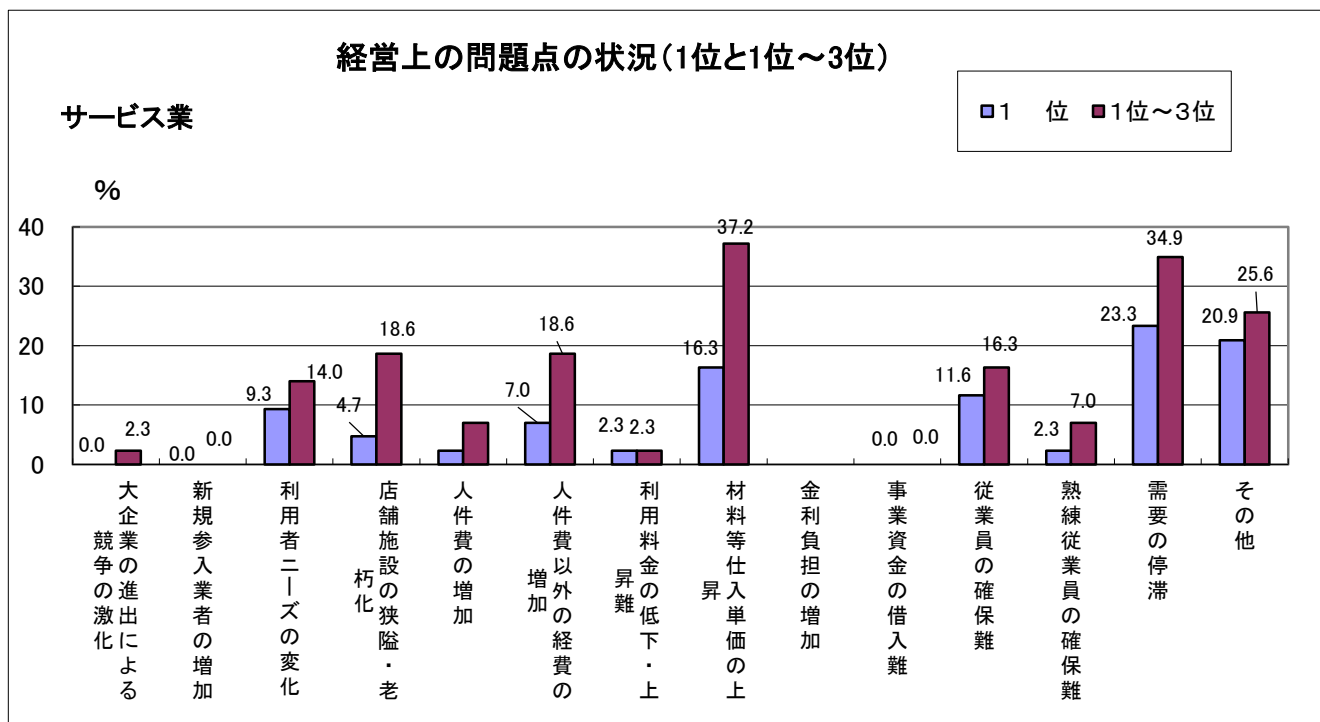
### (4) 設備投資の推移

当期は、設備投資を計画していた企業は5.6%であったが、実施したのは計画を上回る18.9%の企業であった。内容は土地、建物等となっている。次の四半期に設備投資を計画している企業は、7.7%との結果となっている。



### (5) 経営上の問題点

経営上の問題点(1位グループ)で、回答が多かったものは1位が「需要の停滞」で、2位が「その他」、3位が「材料等仕入単価の上昇」となっている。(1位から3位グループ)では、1位が「材料等仕入単価の上昇」、2位が「需要の停滞」、3位が「その他」となっており、(1位グループ)と同様、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて「需要の停滞」が、上位に位置付けられている。



産業別主要景況項目状況

宮崎県商工会連合会

業種			実績					見通し
			令和2年	令和3年	令和3年	令和3年	令和3年	令和4年
			10月～12月	1月～3月	4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月
製造業	売上(加工)額	増加・好転	22.6	19.4	21.4	31.0	34.5	31.0
		不変	19.4	35.5	39.3	27.6	37.9	55.2
		減少・悪化	58.0	45.1	39.3	41.4	27.6	13.8
		D・I値	▲ 35.4	▲ 25.7	▲ 17.9	▲ 10.4	6.9	17.2
	採算(経常利益)	増加・好転	22.6	19.4	10.7	13.8	20.7	17.2
		不変	35.5	51.6	60.7	48.3	51.7	69.0
		減少・悪化	41.9	29.0	28.6	37.9	27.6	13.8
		D・I値	▲ 19.3	▲ 9.6	▲ 17.9	▲ 24.1	▲ 6.9	3.4
	資金繰り	増加・好転	16.1	12.9	7.1	6.9	6.9	10.3
		不変	51.6	64.5	85.8	69.0	82.8	82.8
		減少・悪化	32.3	22.6	7.1	24.1	10.3	6.9
		D・I値	▲ 16.2	▲ 9.7	0.0	▲ 17.2	▲ 3.4	3.4
設備投資	計画	14.3	22.6	19.4	14.3	27.6	17.2	
	実行	3.2	9.7	21.4	10.3	25.0		
建設業	完成工事(請負工事)額	増加・好転	12.5	16.7	30.4	17.4	22.7	9.1
		不変	54.2	41.6	34.8	43.5	40.9	63.6
		減少・悪化	33.3	41.7	34.8	39.1	36.4	27.3
		D・I値	▲ 20.8	▲ 25.0	▲ 4.4	▲ 21.7	▲ 13.7	▲ 18.2
	採算(経常利益)	増加・好転	4.2	16.7	13.0	8.7	13.6	9.1
		不変	79.1	58.3	65.3	60.9	59.1	72.7
		減少・悪化	16.7	25.0	21.7	30.4	27.3	18.2
		D・I値	▲ 12.5	▲ 8.3	▲ 8.7	▲ 21.7	▲ 13.7	▲ 9.1
	資金繰り	増加・好転	4.2	13.0	8.7	0.0	9.1	4.5
		不変	79.1	78.3	82.6	78.3	68.2	81.9
		減少・悪化	16.7	8.7	8.7	21.7	22.7	13.6
		D・I値	▲ 12.5	4.3	0.0	▲ 21.7	▲ 13.6	▲ 9.1
設備投資	計画	4.5	12.5	8.3	13.0	4.3	13.6	
	実行	12.5	0.0	13.0	8.7	9.1		
小売業	売上額	増加・好転	14.6	17.5	25.6	17.9	23.1	25.6
		不変	39.0	47.5	28.2	25.7	35.9	41.1
		減少・悪化	46.4	35.0	46.2	56.4	41.0	33.3
		D・I値	▲ 31.8	▲ 17.5	▲ 20.6	▲ 38.5	▲ 17.9	▲ 7.7
	採算(経常利益)	増加・好転	7.3	20.0	15.4	7.7	5.1	10.3
		不変	51.2	50.0	43.6	56.4	61.6	61.5
		減少・悪化	41.5	30.0	41.0	35.9	33.3	28.2
		D・I値	▲ 34.2	▲ 10.0	▲ 25.6	▲ 28.2	▲ 28.2	▲ 17.9
	資金繰り	増加・好転	7.3	15.0	7.7	5.1	7.9	7.7
		不変	65.9	72.5	71.8	64.1	73.7	66.7
		減少・悪化	26.8	12.5	20.5	30.8	18.4	25.6
		D・I値	▲ 19.5	2.5	▲ 12.8	▲ 25.7	▲ 10.5	▲ 17.9
設備投資	計画	12.8	7.3	7.5	7.7	5.1	5.1	
	実行	12.2	10.0	5.1	2.6	10.3		
サービス業	売上額	増加・好転	8.2	8.0	22.2	11.1	22.6	25.0
		不変	36.7	34.0	35.2	24.1	39.7	50.0
		減少・悪化	55.1	58.0	42.6	64.8	37.7	25.0
		D・I値	▲ 46.9	▲ 50.0	▲ 20.4	▲ 53.7	▲ 15.1	0.0
	採算(経常利益)	増加・好転	6.1	2.0	14.8	0.0	9.6	11.5
		不変	42.9	55.1	48.2	44.4	53.9	59.7
		減少・悪化	51.0	42.9	37.0	55.6	36.5	28.8
		D・I値	▲ 44.9	▲ 40.9	▲ 22.2	▲ 55.6	▲ 26.9	▲ 17.3
	資金繰り	増加・好転	4.1	2.0	9.3	0.0	9.4	9.4
		不変	61.2	68.0	55.5	60.4	62.3	69.8
		減少・悪化	34.7	30.0	35.2	39.6	28.3	20.8
		D・I値	▲ 30.6	▲ 28.0	▲ 25.9	▲ 39.6	▲ 18.9	▲ 11.4
設備投資	計画	8.5	10.0	0.0	11.1	5.6	7.7	
	実行	16.0	4.0	7.4	3.8	18.9		
産業全体	売上高	▲ 33.7	▲ 29.6	▲ 15.8	▲ 31.1	▲ 10.0	▲ 2.2	
	採算	▲ 27.7	▲ 17.2	▲ 18.6	▲ 32.4	▲ 18.9	▲ 10.2	
	資金繰り	▲ 19.7	▲ 7.7	▲ 9.7	▲ 26.1	▲ 11.6	▲ 8.8	
	業況	▲ 25.4	▲ 16.0	▲ 15.7	▲ 29.3	▲ 10.9	▲ 4.5	

# 中小企業景況調査報告書

令和3年12月発行

宮崎県商工会連合会

〒880-0013

宮崎市松橋2丁目4番31号

宮崎県中小企業会館2階

TEL 0985-24-2055(代表)

FAX 0985-25-0036